



平成22年 4月26日

各 位

会社名 株式会社紀陽ホールディングス  
 代表者名 取締役社長 片山博臣  
 (コード番号 8415 東証・大証第1部)  
 問合せ先 取締役グループ企画部長  
 成田幸夫  
 (TEL 073 - 426 - 7133)

平成22年3月期第4四半期 有価証券評価損(減損処理額)の戻入れに関するお知らせ

当社の子会社である株式会社紀陽銀行(本店:和歌山市、取締役頭取 片山博臣)において、「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成22年3月期第3四半期において有価証券評価損を計上いたしました。平成22年3月期第4四半期において有価証券評価損の戻入れが発生することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成22年3月期第4四半期における有価証券評価損

	紀陽銀行単体
(A) 平成22年3月期第4四半期会計期間(平成22年1月1日から平成22年3月31日まで)の有価証券評価損(減損処理額)の総額(=イーロ)	△1,281百万円 (△:戻入れ)
(イ) 平成22年3月期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)の有価証券評価損(減損処理額)の総額	6,688百万円
(ロ) 直前四半期(平成22年3月期第3四半期)累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)の有価証券評価損(減損処理額)の総額	7,969百万円

- ※ 四半期における有価証券の評価方法は、第1四半期から第3四半期までは洗替え方式、第4四半期は切放し方式を採用しております。
- ※ 当社グループの決算期末は、3月31日であります。
- ※ 株式会社紀陽銀行単体における平成22年3月末のその他有価証券評価差額(保有目的区分変更にかかる評価差額を含む)は97百万円(速報値)です。

○連結純資産額・連結経常利益額・連結当期純利益額に対する割合

(B) 平成21年3月期末の連結純資産額	125,335百万円
(A/B × 100)	△1.0%
(イ/B × 100)	5.3%
(C) 最近4事業年度平均(注)の連結経常利益額	4,954百万円
(A/C × 100)	△25.9%
(イ/C × 100)	135.0%
(D) 平成21年3月期の連結当期純利益額	1,439百万円
(A/D × 100)	△89.0%
(イ/D × 100)	464.5%

(注) 当社は設立後5事業年度を経過していないため最近4事業年度の平均を記載しております。

2. 今後の見通し

本件に伴う通期連結業績予想の修正はございません。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>  
 グループ企画部 白井  
 TEL 073 - 426 - 5111